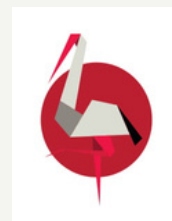


社会福祉法人 福田会 週次報告書

2023年1月24日 / Vol. 036



1月16日(月)～1月22日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援



ご支援総額

2023年1月20日までの寄付総額 117,320,443 円

寄付金使用総額 3125041.82 zł (約9063万円)

1/16(月)～1/22(日)の期間中の寄附金使用額

24410.21 zł (約71万円)

レストランプロジェクト参加店の食事をテイクアウトし、滞在先で食べている子どもたち。温かい母国料理を前に、笑みを浮かべている。

活動内容



支援所への支援物資提供

カリタス支援所とPeron4支援所へ、週に1度の支援物資の買い出し支援を実施。

毎週、現地ボランティアスタッフと支援物資の買い出しを実施しているスーパーでは、福田会の支援活動を認知しているスーパーの責任者が、レジのスクリーン作業を手伝ってくれた。



レストランプロジェクト

市内レストラン2店舗と協力し、無料で温かい食事を提供。
今週は2店舗で約400食を提供。

レストランプロジェクト参加店のBENTOは、昨年冬に新たにウクライナ料理店をオープンしており、合計で15名の避難民女性を雇用している。



食材支援（毎週金曜日）

今週は28家族に1週間分の昼食用食材を提供。

一人あたり50złの予算を設け、合計で4328.51 zł（約130,000円）分の食材を購入。

買い物を実施している大手スーパー・ビエドロンカでは、毎週目玉商品の値引きを実施しており、チラシを片手に上手に買い物をしている参加者の姿も見受けられる。





現地の動向

12月の後半から1月上旬にかけて、ポーランドでは晴天が続いていたが、1月の中旬から再び降雪が続いている。

しばらく好天が続いていたため、人々は早い春の訪れを期待していたが、更なる寒波の到来に戦々恐々としている。

1月22日は、ウクライナでは「ウクライナ統一の日」とされ、1919年1月22日に、ウクライナ人民共和国と西ウクライナ人民共和国が統一文書を発表したことを記念し制定された。

「ウクライナ統一の日」を受け、クラクフ市内においても、ウクライナ人コミュニティによる催しが開催された。

この催しでは、ウクライナの楽曲を歌い、ウクライナ軍への寄付を募った。

また、2月の侵攻以降、連日のようにクラクフ中央広場で抗議活動をしている避難民団体は、語気を強め、国際社会の更なるウクライナへの連帯を訴えていた。



(出典 <https://uainkrakow.pl/u-krakowi-kolyaduvatymut-na-den-sobornosti-ukrayiny/>)